

受験結果速報

合格おめでとう！

これからが大事。新たなステージでもがんばれ、名教生！

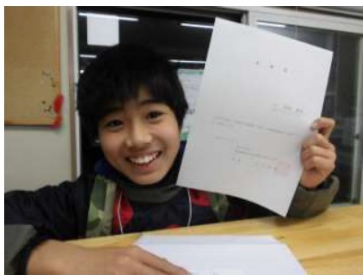
保護者の皆さまのページ



愛知教育大学附属
名古屋中学校

仲田 蒼史くん

橘小学校



名古屋大学
教育学部附属中学校

大橋 怜くん

山根小学校



麗澤瑞浪中学校

和家 敬良くん

鳴子小



愛知学院大学

東郷高校

箕浦 功祐くん



あんぱんち

塾長コラム

1月も終わりに近づき、寒さが厳しい日が続きます。各学校では学級閉鎖になるクラスも出てくるようです。塾でも、発熱、インフルエンザなどで、お休みされる子が目立っています。私事です。が、年末に左足を骨折してしまい、みなさまにも大変ご迷惑をおかけしました。教室に行くのに、テキストなど荷物を持ってくれる子をはじめ、子どもたちの温かさを感じられたのは、不幸中の幸いです。しかし、「健康が一番！」身をもって痛感します。

さて、来春、小学校の教科書が新しく改訂されます。先日、勉強会に参加して、それを拝見してきました。今回の改訂は、教科書のもとになる学習指導要領の改訂がありまから、現行の教科書と内容的には大きく変わらない印象です。ところが驚いたのは、教科書の厚さです。6年生の教科書が大変厚くなっています（一部、他学年も）。「内容の変更はないのに、こんなに厚くなるの？」と思います。これまでも、上、下巻と分冊だった教科書が1年で1冊にまとまったためです。ところで、そもそも小学校の教科書が、上、下巻の分冊になることが多いわけを存じでしょうか？ それは、荷物が重くなってしまうことへの配慮があるからです。分冊にすれば、予算も多くなってしまうかもしれませんが、体が小さい小学生のランドセルが重くなりすぎないようにとの配慮です。それが、今回、高学年の教科書を中心に、分

冊をやめるのはなぜだろうと思います。予算削減のねらいだけではないと思います。中1ギャップの問題に手を打とうとしたねらいがあるという推察もあります。小学校から中学校に進学したときに、学習内容や生活リズムの変化にじむことができず、いじめが増加したり不登校になったりする中1ギャップです。その原因は、様々な複雑とされていますが、昔からある先輩・後輩の上下関係の中で自分の居場所をなくす、学習内容のレベルが上がるなどが考えられます。これを改善したい文科省の意向が教科書会社にはたらいたかどうかは分かりません。中学の学習内容の多さ（教科書の厚さ）に少しずつ慣れさせておこうという意図かなと思います。見た目だけでなく、新しい6年生の算数の教科書には、「中学校ではこのように習うよ」と、中学校の数学を紹介、予習させるようなページも複数入っています。形式、内容の両方で、中1ギャップを解消したいという教科書会社の意図を感じます。

以前のこのあんぱんちでもご紹介した通り、この問題は、大なり小なり子どもたちの多くが感じていると、私も塾の現場にいて感じています。ですから、学習については、少しでもギャップを減らすように、小6のこの時期には、中1の予習をさせます。小学生から続けて通っていたことが多く、特に神経を使ってみるようになります。新中1生に限らず、まもなく、進学、進級の時期をむかえます。まだ受験を控えて、これから大事な時期をむかえる子もいます。子どもたちにとって、精神的

予定



1月31日(土) レッツ確認テスト&漢字検定
~2月 5日(木) 中3私立高校入試対策特訓！
2月 2日(月)~20日(金)
中1・2学年末テスト対策特訓！
2月 5日(木) 「平成27年度のご案内」配布
2月 9日(月)~ 中3公立高校入試対策特訓！

2月 9日(月)~28日(土) 個人懇談会
2月15日(日) JET
2月15日(日) 私立中学受験全国模試
2月15日(日) 中1・2テスト対策授業



にもハードな季節です。保護者の皆さまと協力して、子どもたちを支えていきたいと強く思う季節です。
塾長 西川 陽祐